

令和6年 第2回教育委員会 会議録

日 時	令和6年2月13日（火） 午後2時30分～午後3時40分
場 所	向日市役所 第10会議室
出席委員	山本教育長、松本委員、流石委員、中野委員、畠山委員
事務局	教育部長、教育監兼学校教育課総括指導主事、教育部副部長兼生涯学習課長、教育総務課長、教育総務課担当課長、学校教育課長、学校教育課担当課長兼総括指導主事、学校教育課主幹兼総括指導主事、学校教育課主幹兼総括指導主事、学校教育課主幹、中央公民館長、図書館長、文化資料館担当課長、教育総務課副課長
議 題	委員会諸報告 議案第1号 向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について
傍 聴 者	なし
教育長	開会宣言
教育長	会議規則の規定により、第1回会議録の承認について諮る。 (全員異議なし)
教育長	会議録は承認された。 本日はまず、委員会諸報告として、「令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について」報告願う。
事務局	— 令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について — 前回提案してご意見をいただいた点について、修正した部分を説明する。 表紙の写真については、修正部分の説明後にお話しする。 原稿1ページ、新旧対照表2ページをご覧いただきたい。 三つのキーワード、自立・協働・人権尊重の「協働」の部分である。 前回、「個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画する」の「社会に参画する」を「新たな価値を創造する」としていた。 協働という意味について、新たな価値を創造するというのは少し中身が違うのではないかというご意見をいただいた。 「新たな価値の創造」という文言は、教育大綱にも位置付けられているため何とか入れたく、冒頭に「新たな価値を創造することを目指し、」という形で入れたいと考えている。

	<p>以降は令和5年度と同じく「個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画する」という文にしたいと考えている。</p> <p>次に、原稿3ページ、新旧対照表4ページの、特に配慮すべき事項の(13)である。</p> <p>「英語検定チャレンジ事業を活用し、英語への関心や学習意欲の一層の向上」ということで、「一層」の場所を変えた。</p> <p>前は「英語検定チャレンジ事業を活用し、一層」と文章の真ん中ぐらゐに来ていたが、向上させるという意味をしっかりと表すために、「一層の向上」と修正している。</p> <p>次に、原稿4ページ、新旧対照表6ページだが、ひまわり広場についてのご質問を受け、括弧書きで「旧適応指導教室」という文言を入れたいと考えている。</p> <p>この括弧書きは、また「ひまわり広場」という言葉が一般的に広まれば、取っていったらと考えている。</p> <p>次に、原稿6ページ、新旧対照表8ページ、重点内容の(1)である。</p> <p>「災害時や新たな感染症等の非常時においても」と前回提案していたが、「新たな感染症」が非常時の状態ではないので、「新たな感染症の流行」の「流行」という言葉を入れたいと考えている。</p> <p>学校教育課の所管分については以上である。</p>
事務局	<p>社会教育の指導の重点の変更点を、2ヶ所ご説明する。</p> <p>本文7ページ、新旧対照表11ページをご覧ください。</p> <p>ご指摘いただいた、「スポーツの推進」と「歴史・文化資源の整備と活用」の表題部の色についてである。</p> <p>「スポーツの推進」を紫から活動的なイメージの赤に変更し、「歴史・文化資源の整備と活用」を赤から落ち着きがあり歴史のイメージがある紫に変えさせていただいた。</p> <p>続いて、本文10ページ、新旧対照表12ページである。</p> <p>組織図で、留守家庭児童会の連絡先が各小学校になっているというご指摘をいただいた。</p> <p>いろいろな照会ごとは留守家庭児童会を所管している生涯学習課で受けているため、生涯学習課の電話番号を代表に記入させていただく。</p>
事務局	<p>表紙の写真について、ご説明する。</p> <p>前回申した通り、学校教育と社会教育のバランスをとっている。</p> <p>学校教育では、小学校3枚と中学校2枚を選定している。</p> <p>社会教育では、文化資料館と文化財係から各1枚、地域連携としてコミュニティ・スクールと企業連携を1枚ずつ選定している。</p>

	<p>中央には、1人1台端末を利用した授業風景の写真を掲載している。</p> <p>学校教育においても、今後ますますデジタルトランスフォーメーション化が広がり、令和6年度も積極的に活用を進める意味で、中央に配置した。</p> <p>その上に、令和5年度、初めて開催場所を永守重信市民会館にして実施した中学生英語スピーチ大会を配置している。</p> <p>今年度から英語検定チャレンジ事業も行い、英語力の向上を図っているため、中央の上に配置している。</p> <p>上段の左右にふるさと向日市を学ぶ児童生徒を、下段の中央に未就学児がふるさと向日市で遊んで学ぶ写真を配置している。</p> <p>縦、横、それぞれの列に学校教育と社会教育が入るよう配慮した。</p> <p>また、なるべく小学校と中学校が縦横並びにならないようにしている。</p> <p>上段右側の写真は、文化資料館の事業「学んで語ろう！古代のみやこ・長岡京」で、大極殿祭開催後の音読発表会の様子である。</p> <p>下段の中央は、文化財系の事業で、「あそんで！まなぶ！『ふわふわ！朝堂in』」の様子である。</p> <p>参加者のほとんどが未就学児で、小さい頃からふるさと向日市の史跡を、遊んで学んでいる様子である。</p> <p>下段の右側は、企業連携として、第5向陽小学校の1年生が、永守コレクションギャラリーを見学している様子である。</p> <p>企業連携による出前授業や施設見学は、子どもたちの視野を広げる素晴らしい体験となるため、今後も積極的に活用していきたいと考えている。</p> <p>中段の左側は、今年度から各小中学校で、コミュニティ・スクール、学校運営協議会制度が導入され展開されている中で、その写真は、勝山中学校での、グループでの熟議の様子である。</p> <p>下段左側には小学校5年生の臨海学習の様子と、中段右側には中学校の体育的行事である体育祭、色別対抗のリレーの様子を掲載している。</p> <p>【質疑等】</p> <p>幼保・小・中、学校教育・社会教育、バランスをとりながら、特にそれぞれで見ていただきたいような、特徴のある取り組みをピックアップしたということである。</p>
教育長	
委員	<p>訂正内容は結構かと思う。</p> <p>全体を見て、体裁的なところでいくつか申し上げる。</p> <p>原稿の3ページから5ページにかけて、タイトルの後に丸がついてから文章があるが、3ページ上部は丸のあとに空白があり、同ページ一番下や、5ページ・6ページも、丸の後のスペースがあいていたりあいていなかったりと、他の箇所もばらつきがあるため、ここはそろえた方がいいと思わ</p>

事務局	<p>れる。</p> <p>6 ページの一番下、(7) キャリア教育は、段がずれている。</p> <p>8 ページの「家庭の教育力の向上」の(2)の「基本的な生活習慣の重要性や現代的課題」の注意書きは、他の米印の注意書きは全て青字になっているため、これもそろえた方がいいかと思われる。</p> <p>丸や改行等、きちんとそろえて、最終原稿を仕上げる。</p>
委員	<p>内容で、前回以前に検討できなかった部分だが、4 ページの下の方の不登校に関して、今、一部の学校では別室登校という形の対応をされているという部分は、ここに入れなくてもいいのか。</p> <p>5 ページの中学校部活動の地域移行は、「検討」という形で、配慮すべき事項の欄も「スポーツ団体等と協議」とあり、おそらく昨年と変わってないと思うが、これはこのままでいいのか、何か進展があるのであればそのあたり何か入れる方がいいのかと、少し気になった。</p>
事務局	<p>不登校の対応として、確かに勝山中学校区で新たに京都府の指定は受けたが、別室登校については、以前からずっと行っていることである。</p> <p>また、この指定も3年間ということで、どうなるか不透明なところがあるため、あえてここへの記載については見送っている経過がある。</p> <p>部活動の方は実際には、部活動の地域移行に係る懇談会ということで、地域のスポーツ団体等の方にもお集まりいただき、ご意見を伺う会議の立ち上げはしている。</p> <p>ただ、国からは様々な通知が出ているが、現在、京都府の方でも検討会が立ち上がっており、まだその府の方向性が定まっていない状況であるため、ここでもう少し踏み込んで書くのは難しいかと考えている。</p> <p>令和6年3月頃には京都府の方向性が出てくる予定と聞いているため、次年度はもう少し踏み込んだ書き方ができるのではないかと考えている。</p>
教育長	<p>ご指摘いただいた誤字脱字等は、もう一度複数名の目で見直すようにする。</p>
教育長	<p>次に、「令和5年度第2回いじめ調査の概要について」報告願う。</p>
事務局	<p>— 令和5年度第2回いじめ調査の概要について —</p> <p>令和5年度のいじめ調査は、11月に1回目の追跡調査、同時期に2回目の調査を実施し、令和6年1月9日に京都府教育委員会に報告した。</p> <p>2月に2回目の追跡調査を実施する予定である。</p> <p>1回目の追跡調査の認知、未解消、解消の件数について、小学校での認</p>

知件数は607件。未解消件数は34件で6%、解消件数は573件で94%である。

中学校での認知件数は93件。未解消件数が22件で24%、解消件数は71件で76%である。

2回目調査では、小学校の認知件数が534件。未解消件数は526件で99%、解消件数は8件で1%である。

中学校の認知件数が92件。未解消件数が92件で、100%である。

小中学校の年間合計で令和4年度と比較すると、認知件数は98件の増加となっている。

令和2年度までは減少傾向であったが、令和3年度からほぼ横ばいの状況である。

令和5年度の学年別認知件数について、小学校では、おおむね学年が上がるにつれて認知件数が減少する傾向が見られる。

令和5年度は、中学1年生での件数が大幅に増加している。

いじめの認知件数については、文部科学省でも認知件数が多いことは教職員の目が行き届いていることの証であるとの見解を出しており、この件数の増加については、それぞれの生徒の思いをしっかりと把握できているとの判断をしている。

ただ一方で、いじめの芽や兆候を見逃さず、早期発見・早期対応することが大切であるため、いじめを認知している児童生徒については、それぞれの状況を継続的に丁寧に見守っていきたいと考えている。

次に未解消の状況について、1回目追跡調査後の未解消数は、小学校は34件。うち、見守りが18件、要支援が10件、要指導が6件である。

中学校は22件。うち見守りが13件、要支援が8件、要指導が1件である。

2回目調査時の未解消数は、小学校が526件。うち見守りが297件、要支援が53件、要指導が176件である。

中学校が92件。うち見守りが68件、要支援が20件、要指導が4件である。

2回目調査については、いじめ認知から3ヶ月が経過していないため、そのほとんどが未解消件数となる。

いじめの態様については、小学校では、①「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」が最も多く、次に、③「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする」。

そして三番目に、⑦「嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする」の順で多かった。

中学校においても最も多いのは、①「冷やかしやからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」。

次に、③「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られ

	<p>たりする」が多かった。</p> <p>【質疑等】</p>
委員	<p>未解消の状況の中で、小学校の1回目調査で、要指導156件という数字があるが、追跡では6件になっている。</p> <p>その流れからすると、2回目も176件あって、解消されてとなっているが、この減り方というのは、どんな指導をされているのか。</p> <p>軽い案件だから解消する率が高かったという内容のものなのか。</p>
事務局	<p>2回目調査の3ヶ月後に、それぞれの児童に、調査以後の3ヶ月間に嫌なことがあったかなかったかを聞き、なかった場合、解消としている。</p> <p>その間の指導としては、当然、いじめを行った児童生徒にも指導を行い、経過を観察しながら、指導を行っている。</p> <p>内容が大きいか小さいかにかかわらず、必ずそれぞれの事象については、その児童の話を聞き、その対象の児童に指導するというを行っている。</p> <p>また、学級、学年での全体指導も行っているため、その大半が解消に向かうことになる。</p>
委員	<p>その中で、要指導となり指導される中で、子どもたち、先生方も、記録などはきちんと残しておられるのか。</p>
事務局	<p>いじめを受けた内容を書いているアンケート用紙、個別の面談をした内容については、5年間保存しており、学校に残っている。</p> <p>いつでもまた振り返って見られるように、校長室に、年度ごとにきちんと保管している。</p>
委員	<p>小学校で、1回目の調査後に4名の転出があったとあるが、いじめとは関係なく、ただ単に引っ越したということか。</p>
事務局	<p>おっしゃるとおり、1回目に認知件数が611件あり、1回目の追跡調査が607件ということで4名の差があるが、1学期の間に4名の児童が転出しており、11月には学校にいなかったということである。</p>
教育長	<p>次に、議案第1号「向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について」を上程する。</p> <p>この議案については公開することにより、今後の市議会での審議への影響も考えられるため、教育委員会会議規則第14条に基づき、秘密会</p>

	<p>にしたいと思うが、賛成の方は挙手願う。</p> <p>(全員挙手)</p>
教育長	<p>全員挙手により秘密会とする。</p> <p>(以下秘密会)</p>
教育長	<p>議案第1号「向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について」の採決を行う。</p> <p>(全員挙手)</p>
教育長	<p>議案第1号は承認された。 秘密会を解く。</p> <p>(以上秘密会)</p>
教育長	<p>閉会宣言</p>

令和6年第2回教育委員会

令和6年2月13日（火）
午後2時30分から
向日市役所 第10会議室

1 開 会

2 会議録の承認について

3 議 案

委員会諸報告

- ・令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について
- ・令和5年度第2回いじめ調査の概要について

議案第1号 向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経るべき案件に対する 意見について

- ・令和5年度向日市一般会計補正予算について
- ・令和6年度向日市一般会計予算について

4 閉 会

諸報告資料

令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂について

令和6年2月13日
学 校 教 育 課
生 涯 学 習 課

別紙のとおり報告します。

令和6年度

向日市の教育



ふるさと学習（大極殿公園）



中学生英語スピーチ大会



学んで語ろう！古代のみやこ・長岡京



コミュニティ・スクール
（学校運営協議会制度）



ICTを活用した授業（理科）



体育祭



臨海学習
（京都府立青少年海洋センター マリンピア）



あそんで！まなぶ！『ふわふわ！朝堂 in』



企業連携
（永守コレクションギャラリー見学）

向日市教育委員会

令和5-6年度 指導の重点

新しい時代を拓く「自立・協働・人権尊重」の教育の推進

知識基盤社会と言われる現在、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で重要になっている。加えて、AI等をはじめとする技術革新やグローバル化の進展により、職業の抜本的变化とともに社会や生活を大きく変えていく超スマート社会の到来が予想されている。

また、環境問題など地球規模の人類共通の課題解決が求められる中で、我が国においては、人口減少・高齢化の進展による労働人口の減少が予想され、長期を見通した社会の持続的な成長・発展が重要な課題となっている。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な分野で、「新しい生活様式」に対応させる必要が生じ、テレワークの進展とともにDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速するなど産業構造や働き方が大きく変化しようとしている。また、学校においては、感染症の影響による臨時休業等により、学校の役割の重要性が再認識され、子どもたちの健やかな学びを保障するため、感染症対策を講じつつ、必要に応じオンライン学習を導入するなど、学校は大きく変容することを求められた。人づくりを担う教育もまた、多様な価値観と多様な学びが広がる中で、学校の意義や学ぶことの意義を改めて問われるようになった。

こうした状況に対応するため、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくことが極めて重要であり、一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現が求められている。

本市においては、新しい時代にたくましく生き、ふるさと向日市から世界に羽ばたき、社会と地域の発展に貢献できる人間が育つ地域づくりを目指し、人権尊重を基盤として、時代の進展に対応した教育を進めているところである。また、市民が生涯にわたって、学習・文化・スポーツ活動を続けることができる総合的な環境の整備・充実に努めている。

向日市の教育は、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切に、「自立」と「協働」、「人権尊重」をキーワードとして市民の信託と期待に応える教育を推進することを目指すものである。

自立

一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていく。

協働

新たな価値を創造することを目指し、個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画する。

人権尊重

人権という文化を生活の中に根付かせるため、一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、豊かな人権感覚、人権を尊重する態度と実践力をはぐくむ。

向日市の特色を生かした教育活動

- ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ学習
(地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実、生涯学習の振興)
- あいさつからはじまる豊かなコミュニケーション
(コミュニケーション能力の育成、地域社会との連携・協働)

学校教育指導の重点

現行の学習指導要領においては、これからの時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を図り、生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等をバランスよく育成することとしている。

本市では、「第2次ふるさと向日市創生計画」や「第2期京都府教育振興プラン」、京都府教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえ、本市教育委員会の「学校教育指導の重点」を策定し、学校教育活動の充実・発展に努めるとともに、重点課題を明確にし、その課題解決を図っている。

このため、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と地域社会が共有し、連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程の実現」※を図るとともに、子どもたち一人一人を大切に、誰一人取り残すことのない教育を推進する。

豊かな学びの創造と 確かな学力の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成
豊かな人間性の育成と 多様性の尊重	<ol style="list-style-type: none"> 1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実
健やかな身体の育成	<ol style="list-style-type: none"> 1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進
学びを支える 教育環境の充実	<ol style="list-style-type: none"> 1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり
学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上	<ol style="list-style-type: none"> 1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進

※「社会に開かれた教育課程の実現」

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようになるのかを教育課程において明確にし、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくこと。

豊かな学びの創造と確かな学力の育成

○ 児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力※₁をはぐくむ教育を推進する。

※₁ 確かな学力

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む意欲・態度を統合した力

1 基礎的な知識・技能の習得

2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成

3 主体的に学習に取り組む態度の育成

- (1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善
- (2) ICT を効果的に活用した授業の実施
- (3) 小中の接続を重視した外国語教育の実施
- (4) 学力向上プログラムに基づく検証・改善サイクルの確立と学習指導の改善・充実
- (5) 個に応じた指導の充実による基礎学力の定着
- (6) 家庭との連携による発達段階に応じた学習習慣の確立
- (7) コミュニケーション能力や自尊心、社会性など非認知能力※₂の向上に向けた取組の充実
- (8) グローバル化に対応できる人材の育成
- (9) 地域の歴史や我が国の伝統・文化等を学ぶ機会の充実
- (10) ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実
- (11) 教育課程に芸術・文化活動を適切に位置付けて実施
- (12) 主体的な進路選択と希望進路実現のための進路指導の充実
- (13) 中学生英語スピーチ大会を学習成果の発表の機会と捉え、教育課程に位置づけた計画的な取組の推進

※₂ 非認知能力

コミュニケーション能力や自尊心、社会性など、数値で示すことが困難とされる力

特に配慮すべき事項

- (1) ・学ぶ意義や楽しさを感じられるよう配慮
・課題解決型の授業
- (2) ・1人1台端末を活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実施
・情報活用能力の育成
- (3) ・ALT（外国語指導助手）の積極的な活用
・小中や小小の連携強化による学習指導の充実
- (4) ・児童生徒の学力の客観的な状況把握
- (5) ・「子どものための京都式少人数教育」を踏まえた指導充実
- (9)(11) ・専門家等による指導や芸術作品の鑑賞等の機会の充実
- (10) ・ふるさとの伝統や文化を学び、発信することができる取組の推進
・地域人材の活用
・市内各施設・史跡等の活用
- (12) ・各高等学校の特色を踏まえた中高の一層の連携
- (13) ・英語検定チャレンジ事業を活用し英語への関心や学習意欲の一層の向上

豊かな人間性の育成と多様性の尊重

- 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進する。
- 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくむ。
- すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組む。

1 人権教育の推進

2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実

3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実

4 いじめや暴力行為の防止対策の充実

5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実

- (1) 「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」及び「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」を踏まえた人権教育の推進
- (2) 同和問題（部落差別）を人権問題の重要な柱として位置づけた体系的・計画的な人権学習の充実
- (3) 人権学習に関する公開授業の実施と家庭・地域社会への啓発
- (4) 道徳教育推進教師を中心とした、全教育活動における道徳教育のさらなる充実
- (5) 子どもの自立心や自律性、人を思いやり生命を大切に作る心などをはぐくむ授業の充実
- (6) 家庭・地域社会と一体となった道徳的実践の環境づくり
- (7) 社会奉仕活動、自然体験活動などの体験活動の充実
- (8) 読書活動を通じた創造力・表現力等の育成
- (9) 読書活動を支える学校図書館機能の充実
- (10) 特別支援教育コーディネーターを中心とする校内体制の充実
- (11) 個別の指導計画に基づく学習指導の充実と個別の教育支援計画の活用
- (12) 授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実
- (13) 向日市いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応による、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底
- (14) 組織的・計画的な生徒指導・教育相談の充実
- (15) 規範意識の醸成や異年齢交流活動など「自己有用感」をはぐくむ取組の充実
- (16) 不登校の児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立する支援の充実
- (17) 保幼小、小中の校種間連携の充実

特に配慮すべき事項

- (1) ・普遍的視点と個別的視点からのアプローチによる指導
・~~新型コロナウイルス感染症等に関する適切な知識を基に、感染症に係る偏見、いじめ、差別等が生じないように、適切に指導~~
- (2) ・「部落差別の解消の推進に関する法律」等の法律を踏まえ、インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題の解決に向けた人権学習の充実
- (4) ・道徳教育推進体制の充実及び全体計画や年間指導計画、指導方法の工夫改善
・『《道徳教育の進め方》京都市ハンドブック』等の活用
・小中学校道徳実践交流会の充実
- (9) ・学校図書館支援員の活用
・学校図書館ボランティア、公立図書館との連携
- (10) ・コーディネーター連絡会議の充実
・教育相談員や支援員の積極的・効果的な活用
- (12) ・特別な支援を要する児童生徒を含め、すべての児童生徒が「わかる・できる」授業づくり
・地域人材やボランティアを活用した補充学習の充実
- (13) ・いじめの未然防止に向けた児童生徒の自尊心や社会性等をはぐくむ教育
- (14) ・小中や小小の連携強化による生徒指導等の充実
- (15) ・非行防止教室、薬物乱用防止教室の実施
- (16) ・教育相談事業等の効果的な活用（巡回・来所・電話相談、ひまわり広場（旧適応指導教室）、スクールソーシャルワーカー、心の相談サポーター、スクールカウンセラー等の配置）
- (17) ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた、幼児と児童の交流の機会や保・幼小指導者による合同の研究機会の充実

健やかな身体の育成

- 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。
- 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。

1 体力・運動能力の向上

2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応

3 食育の推進

- (1) 体力・運動能力の向上に向けた、体力づくりの取組の充実
- (2) 『運動部活動指導ハンドブック』を活用した運動部活動の充実と指導方法の工夫改善
- (3) 中学校部活動の地域移行に向けた検討
- (4) 外あそび等の奨励による子どもの心身の発達や社会性の育成
- (5) 家庭との連携による基本的な生活習慣の確立を図る取組の充実
- (6) 生涯を通じて心身の健康を適切に管理し、改善していくための教育の充実（喫煙・飲酒・薬物乱用防止、感染症対策、メンタルヘルス、性教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等）
- (7) 学校給食を通じた食に関する指導の充実による食育の推進
- (8) 地場産品の活用と地域の食文化を尊重する心の育成

特に配慮すべき事項

- (1) ・新体力テストの結果活用
・「京の子ども元気なからだスタンダード」等を活用した授業や取組の推進
- (2) ・「向日市部活動指導方針」に基づく取組の推進
- (3) ・中学校部活動の地域移行に向け、市内のスポーツ団体等と協議
- (5) ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組等の推進
- (6) ・専門機関と連携し、系統的、総合的な指導
・「生命（いのち）のがん教育」の活用
- (7)(8) ・栄養教諭・栄養士による授業の充実
・小中学校9年間を見通した食育の推進

学びを支える安心・安全な教育環境の充実

- 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備する。
- すべての子どもが将来に夢や希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組む。
- 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。
- 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。

1 安心・安全を守る学校危機管理の充実

2 教職員の資質能力の向上

3 教職員の働き方改革の推進

4 魅力ある学校づくり

- (1) 災害時や新型コロナウイルス感染症新たな感染症の流行等の非常時においても、児童生徒が安心して学べる学習の保障
- (2) 危機対応能力（自ら判断し、自ら行動する力）を育成するための安全教育の充実
- (3) 交通安全指導の徹底（自転車の安全な利用、PTA・地域社会と連携した登下校の安全確保）
- (4) 防災、生活の安全等に関する安全管理の一層の徹底
- (5) 本市教育委員会指定研究制度等を活用した、特色ある教育活動の推進
- (6) 教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実
- (7) 教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す「教職員の働き方改革」の推進

特に配慮すべき事項

- (1) 感染症対策の徹底
 - ・オンラインによる学習支援の充実
- (3) 自転車運転免許教室の実施など
- (4) 学校安全計画、危機管理マニュアル、学校防災計画の定期的な検証と改善
 - ・京都府安全教育の手引き『いのちを守る知恵をはぐくむために』を踏まえた安全教育の計画的な実施
- (6) 全教職員対象の研修会の実施
 - ・『教員等の資質能力の向上に向けて』を手掛かりに計画的かつ効果的な取組
 - ・『コンプライアンスハンドブック』の活用
 - ・子ども未来づくり支援事業等の効果的な活用
- (7) 共同学校事務室業務の充実及び学校業務改善の推進

学校・家庭・地域の連携・協働による 学校の教育力の向上

- 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。
- 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくむ。

1 社会に開かれた教育課程の実現

2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進

- (1) 学校評価の充実と学校の組織としての教育力の向上
- (2) 家庭・地域社会への積極的な情報発信
- (3) コミュニティ・スクール^{※3}の導入展開
- (4) あいさつが交わされるまちづくりの推進
- (5) 環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める
教育の充実
- (6) 国や社会の問題を自分の問題として捉え、主権者として自ら判断し行動できる資質能力の育成
- (7) キャリア教育の視点を明確にした教育活動の推進

※3 コミュニティ・スクール

地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校

特に配慮すべき事項

- (1) 学校目標達成のためのPDCAサイクルの確立
- (2) 学校だよりやホームページを活用
- (3) 学校運営協議会の開催
- (5)(6)
 - ・情報モラル教育の充実
 - ・新聞等の効果的な活用
 - ・持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ環境教育の充実
- (7) 職場体験活動など地域社会と連携した体験的な学習の充実

社会教育指導の重点

社会教育においては、「第2次ふるさと向日市創生計画」、「第2期京都府教育振興プラン」、京都府教育委員会「社会教育を推進するために」、「向日市スポーツ推進計画」、「向日市歴史的風致維持向上計画」を踏まえ、市民の様々な学習・文化・スポーツ需要に応え、生涯の各時期における多様な活動機会の拡充や主体的な学習活動の支援など、市民が生涯にわたって学び続けることができる学習環境の総合的な整備・充実に努めるとともに、~~新型コロナウイルス感染症対策との両立を図る。~~

さらに、一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現に向け、「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」及び「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」を踏まえ、学校・家庭・地域社会で人権教育、啓発の取組を推進する。

生涯学習環境の充実	1 生涯学習の振興 2 社会教育施設における学習機会の充実
家庭・地域社会の教育力の向上	1 家庭の教育力の向上 2 地域社会の教育力の向上
人権教育・啓発の推進	1 人権教育の推進
スポーツの推進	1 スポーツ活動の推進
歴史・文化資源の整備と活用	1 文化財の保護と活用

生涯学習環境の充実

市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、主体的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供及び学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。

1 生涯学習の振興

- (1) 生涯の各時期に応じた学習機会の提供と学習活動の支援
- (2) 生涯学習・社会教育における指導者の養成
- (3) 社会教育関係団体との連携・協力
- (4) ボランティア活動を推進する機運の醸成
- (5) 図書館、文化資料館などの施設ボランティアの活動の支援と協働

2 社会教育施設における学習機会の充実

- (1) 学校教育活動で積極的に活用してもらうための学習プログラムの開発
- (2) 社会教育施設や他の行政機関との連携による、生涯学習施策の総合的な推進

特に配慮すべき事項

- (1) ・ふるさと向日市の歴史を活かした講座など多様な学習機会の提供

- (3) 施設の特徴を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実

特に配慮すべき事項

- (3) ・社会教育施設（公民館、図書館、文化資料館、天文館）の特に配慮すべき事項は、以下のとおり

＜公民館＞

・現代的課題に関する学習機会の充実と地域づくりの担い手の育成

＜図書館＞

・蔵書・レファレンス機能の整備と、ホームページや LINE などインターネットを介した情報機能の拡充、及び読書推進のための各種事業の充実

＜文化資料館＞

・向日市を中心とした地域に関する歴史・文化資料の収集・保管と、展示・講座等での積極的な活用及びデジタルシステムを使った情報発信の拡充

＜天文館＞

・プラネタリウム投影と天文現象に応じた観望会や専門家による天文学講座・教室を開催し、天文学習施設としての機能を充実

家庭・地域社会の教育力の向上

家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努める。また、学校・家庭・地域社会が様々な活動を通して地域の絆を強めるとともに、よりよい社会を創るという目標を共有した上で連携・協働し、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。

1 家庭の教育力の向上

- (1) 豊かな心をはぐくみ、家庭の教育力を高めるための学習機会の充実
- (2) 基本的な生活習慣の重要性や現代的課題※についての理解の促進
- (3) P T A活動の充実と保護者が参加しやすい環境づくりに向けた支援
- (4) 子どもが読書に親しみ、読書習慣を身につけることができる取組の充実

特に配慮すべき事項

- (1) ・就学前からの子どもの家庭教育に関する学習機会の提供
- (2) ・PTA と連携を図り、「早寝・早起き・朝ごはん」など基本的な生活習慣の重要性や、現代的課題への理解促進に向けた取組を推進

※ インターネット・SNS などの正しい利活用、危険ドラッグや大麻等の薬物乱用など

2 地域社会の教育力の向上

- (1) 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的な推進
- (2) 放課後児童の安全・安心な居場所の確保や体験学習を行う「京のまなび教室推進事業」の充実
- (3) 体験活動や集団学習を行うジュニアリーダー養成講座を開催し、次世代のリーダーとなる青少年の育成
- (4) 学校・家庭・地域社会及び関係団体との連携による、子どもの**健全**育成と安全を守る活動の推進
- (5) 社会教育指導者及び社会教育関係職員の研修機会の充実

- (4) ・地域の青少年健全育成団体等と連携を図り、「安全見守りパトロール」、「あいさつ運動」及び現代的課題への理解促進に向けた取組を推進

人権教育・啓発の推進

市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる主体的な学習活動の促進と、その啓発に努める。

1 人権教育の推進

- (1) あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚のための取組の充実
- (2) 高齢者や障がいのある人が社会活動に積極的に参加しやすい環境づくりの推進

特に配慮すべき事項

- (1) 「部落差別の解消の推進に関する法律」等差別のない社会の実現をめざした法律を踏まえ、社会教育関係職員及び関係団体指導者が人権問題を学習する機会の充実
 - ・関係機関・団体等と連携した総合的な取組による、人権に関する多様な学習活動の推進
 - ・障がいのある人について、正しい理解と認識を深めるための学習機会の充実

スポーツの推進

スポーツを「する」「みる」「ささえる」※を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図る。※「する」「みる」「ささえる」 文部科学省策定「スポーツ基本計画」で提唱

1 スポーツ活動の推進

- (1) 子どもから高齢者まで、障がいのある方もない方も気軽に参加できるライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- (2) 超高齢社会において健康で自立した生活を送れるよう、健康寿命の延伸に向けた取組の推進
- (3) スポーツを楽しめる環境づくりの推進
- (4) 「スポーツを通じたまちづくりに関するフレンドシップ協定」による市民の体力向上に向けた取組の充実

特に配慮すべき事項

- (1) 公益財団法人向日市スポーツ文化協会等との連携によるスポーツ活動の推進及びスポーツ実施率の向上を図る取組の充実
- (2) 高齢者をはじめ多くの方が、日常的な運動による健康の維持、体力の向上を図ることができる機会の充実
- (3) 総合型地域スポーツクラブ「ワイワイスポーツクラブ」への支援
 - ・学校体育施設の利用促進

歴史・文化資源の整備と活用

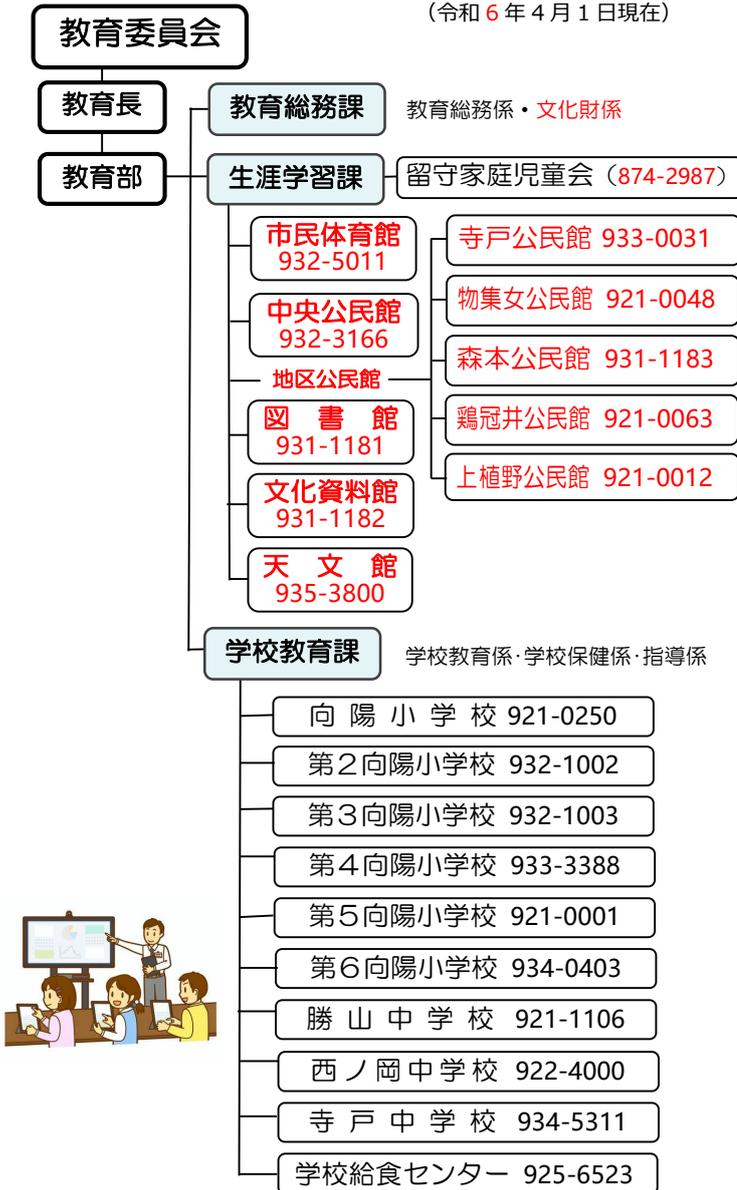
文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。

1 文化財の保護と活用

- (1) 史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群等の歴史・文化遺産の調査・保存・整備と、その普及・啓発及び活用の促進

向日市教育委員会組織図

(令和6年4月1日現在)



向日市教育委員会

〒617-8665 京都府向日市寺戸町中野 20 番地
TEL (075) 874-2998 FAX (075) 931-2555

図書館

向日市に住んでいる方、在学・在勤している方
ならどなたでも借りることができます。

開館時間
・午前10時～午後6時
返却だけのご来館の場合、ブックポスト
をお使いください(24時間利用可能)

休館日
・月曜日(休日の場合は開館し、直後の平日を休館)
・資料整理日(毎月1日/ただし、土・日・月・休日の場合は直後の平日)
・特別整理期間(不定期)
・年末年始(12月28日～1月4日)
・特別警報、暴風警報発令等の場合

 ホームページ
 LINE



文化資料館

古代の都・長岡京について常設展示し、また向日
市を中心に乙訓地域の古文書や民具などを収集・
整理して、大切な文化遺産を未来に伝える役割を
果たしています。

開館時間
・午前10時～午後6時
(入館は午後5時30分まで)

休館日
・月曜日
(休日の場合は開館し、直後の平日を休館)
・資料整理日(毎月1日/ただし、土・日・月・休日の場合は直後の平日)
・年末年始(12月28日～1月4日)
・特別警報、暴風警報発令等の場合

入館料 無料

 ホームページ



天文館

天文館には、定員80人のプラネタリウム室と口
径40cmの反射望遠鏡が設けられているドーム型
天体観測室とを備えています。

開館時間
・午前9時30分～午後5時30分
(入館は午後5時まで)

休館日
・毎週月・火曜日
・国民の祝日・休日、機械調整日
・年末年始(12月27日～1月4日)
・特別警報、暴風警報発令等の場合

入館料 無料(プラネタリウムは有料)

 ホームページ



教育相談はこちらへ

児童生徒や保護者を対象に、不登校やいじめ等をはじめとした学校教育や子育てに関する問題の解決を図るため、教育相談を行っておりますので、お気軽にご相談ください。



●学校教育や子育てについて

スクールホットライン

- ・教育委員会学校教育課内
- ・月～金 午前8時30分～午後5時15分
- ・TEL (075) 931-6060

●小中学生自身の悩みや子育ての悩みについて

教育相談員

- ・教育委員会学校教育課内
- ・火・木 午前10時～午後4時(休憩時間含む)
- ・TEL (075) 874-2998

●不登校児童生徒のための自立支援について

スクールカウンセラー

- ・向陽小学校及び各中学校に配置
- ・お問い合わせは、在籍している小・中学校へ連絡してください。

●子どもの発達や障がいについて

ひまわり広場

- ・向日市天文館内に開設
- ・月～金 午前9時30分～正午
- ・TEL (075) 874-2998

●障がいのある児童生徒の就学及び教育的支援について

通級指導教室

- ・各学校に設置
- ・お問い合わせは、在籍している保育所・幼稚園等、小・中学校へ連絡してください。

教育支援委員会

- ・お問い合わせは、在籍している保育所・幼稚園等、小・中学校へ連絡してください。



古都のむこう 魅力のふるさと

向日市の史跡等

●竹の径 府選定文化的景観

向日市特産の「孟宗竹」を使った総延長が1800mの竹垣の散策路です。日本ウォーキング協会「全国歩きたくなる道500選」などに選ばれています。



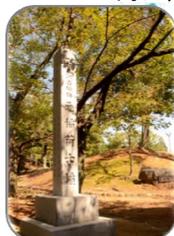
●寺戸大塚古墳 国指定史跡

古墳時代前期の全長約98mの前方後円墳です。



●桓武天皇皇后陵

長岡京を築いた桓武天皇皇后のお墓として宮内庁管理の陵墓になっています。直径約65m、高さ約7mの円形をしています。



●元稲荷古墳 国指定史跡

古墳時代前期の全長約94mの前方後方墳です。



●須田家住宅 府指定文化財
西国街道と愛宕道、丹波道の分岐点にある明治30年代まで醤油製造業を営んでいた旧家です。



●石塔寺 鎌倉時代末期創建と伝えられています。毎年、5月3日の花まつりには、府指定文化財の鶏冠井題目踊が奉納されます。



●西国街道 京都の「東寺口」を起点として「向日町」を経て「摂津」へと向かう古くからの街道です。



●向日神社 国重要文化財・国登録文化財

養老2年(西暦718年)創建の古社。本殿は、室町時代の三間社流造(さんげんしゃながれづくり)という建築様式です。



●中小路家住宅 国登録文化財

西国街道沿いに建つ旧家。幕末に聖護院門跡領の庄屋を務め、同じ頃に建てられた主屋のまわりに長屋門や蔵が連なります。



●物集女車塚古墳

国指定史跡
古墳時代後期の全長約46mの前方後円墳で、毎年、整備した横穴式石室を公開しています。



●森本遺跡 市指定史跡

森本遺跡は、静岡県登呂遺跡と並ぶ代表的な弥生時代の水田跡として知られています。遺構からは全国的にもめずらしい人面付土器が出土し、府の文化財に指定されています。



●五塚原古墳 国指定史跡

古墳時代前期の全長約92mの前方後円墳です。



●東院公園 市指定史跡

長岡宮の内裏と同じ規模をもつ建物群が発見された離宮跡。現在、市民プールを含む公園として整備されています。



●内裏跡・旧上田家住宅

国指定史跡・国登録文化財
長岡宮の天皇の住まいがあった場所に建つ近代の農家住宅です。



●一文橋

西国街道沿いで、小畑川に架かる橋。通行人から一文ずつ徴収して橋の架け替えの費用に充てたという伝承からこの名前がついています。



●大極殿公園 国指定史跡

桓武天皇が政治を司ったところが大極殿(だいごくでん)です。昭和39年に国の史跡に指定されました。平成22年には、天皇皇后両陛下の行幸啓があり、文化資料館とともに立ち寄られました。毎年、11月11日には長岡京遷都を記念して大極殿祭が行われます。



●朝堂院跡 国指定史跡

長岡宮の中央にあった朝堂院は、国の儀式を行う、今の国会議事堂のような政治の中心。西第四堂と南に続く楼閣跡は、案内所も付設した公園として整備しています。

令和6年度「向日市の教育」（指導の重点）【新旧対照表】

諸報告資料

令和5年度		令和6年度		改訂理由
表紙の内容及び説明	特に配慮すべき事項	表紙の内容及び説明 ※ <u>下線部は新規に挿入または修正箇所</u>	特に配慮すべき事項	
<p>【表紙】</p> <p>令和5年度 (市章) 向日市の教育</p> <p>(写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小学校 ふるさと学習(5向小) ◇小学校 創立150周年記念式典(向陽小) ◇小学校 修学旅行(2向小) ◇小学校 向日市小学生陸上交歓記録会 ◇中学校 文化祭(寺戸中) ◇中学校 英語スピーチ大会 ◇文化財 旧上田家住宅見学(教職員ふるさとセミナー) ◇文化資料館 教育150周年記念事業 ◇生涯学習 中学校学習支援(地域学校協働活動) <p>向日市教育委員会 令和5年度 指導の重点</p> <p>【説明】写真9枚について</p> <p>1 表紙写真は、以下を踏まえ選定</p> <p>(1) 本市に関連してR4年度実施した取組から選定(計9枚)</p> <p>(2) 学校教育と社会教育とのバランスを考慮 (学校教育6枚、社会教育3枚)</p> <p><学校教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校種(小、中)や対象(児童、生徒、教職員)のバランスを考慮 (小学校4枚、中学校2枚) <p><社会教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、資料館、文化財調査事務所等の事業内容のバランスを考慮 <p>2 実施内容が分かるように写真の下に説明を表記</p>		<p>【表紙】</p> <p>令和6年度 (市章) 向日市の教育</p> <p>(写真)</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇小学校 ふるさと学習(大極殿公園)(2向小) ◇<u>小学校 ICTを活用した授業(理科)(3向小)</u> ◇<u>小学校 臨海学習(京都府立青少年海洋センターマリーニピア)(4向小)</u> ◇<u>小学校 企業連携(永守コレクションギャラリー見学)(5向小)</u> ◇中学校 体育祭(西ノ岡中) ◇中学校 中学生英語スピーチ大会(寺戸中) ◇文化財 あそんで!まなぶ!『ふわふわ!朝堂 in』 ◇文化資料館 学んで語ろう!古代のみやこ・長岡京 ◇<u>学校教育課・生涯学習課 コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)(勝山中)</u> <p>向日市教育委員会 <u>令和6年度</u> 指導の重点</p> <p>【説明】写真9枚について</p> <p>1 表紙写真は、以下を踏まえ選定</p> <p>(1) 本市に関連してR5年度実施した取組から選定(計9枚)</p> <p>(2) 学校教育と社会教育とのバランスを考慮 (学校教育6枚、社会教育3枚)</p> <p><学校教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・校種(小、中)や対象(児童、生徒、教職員)のバランスを考慮 (小学校4枚、中学校2枚) <p><社会教育></p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館、資料館、文化財調査事務所等の事業内容のバランスを考慮 <p>2 実施内容が分かるように写真の下に説明を表記</p>		<p>・時点修正</p> <p>・写真の選定理由は下段の【説明】欄参照</p> <p>・時点修正</p> <p>・時点修正</p>

令和5年度		令和6年度		改訂理由
前文の内容	特に配慮すべき事項	前文の内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>新しい時代を拓く「自立・協働・人権尊重」の教育の推進</p> <p>知識基盤社会と言われる現在、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で重要になっている。加えて、AI等をはじめとする技術革新やグローバル化の進展により、職業の抜本的変化とともに社会や生活を大きく変えていく超スマート社会の到来が予想されている。</p> <p>また、環境問題など地球規模の人類共通の課題解決が求められる中で、我が国においては、人口減少・高齢化の進展による労働人口の減少が予想され、長期を見通した社会の持続的な成長・発展が重要な課題となっている。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な分野で、「新しい生活様式」に対応させる必要が生じ、テレワークの進展とともにDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速するなど産業構造や働き方が大きく変化しようとしている。また、学校においては、感染症の影響による臨時休業等により、学校の役割の重要性が再認識され、子どもたちの健やかな学びを保障するため、感染症対策を講じつつ、必要に応じオンライン学習を導入するなど、学校は大きく変容することを求められた。</p> <p>こうした状況に対応するため、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくことが極めて重要であり、一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現が求められている。</p> <p>本市においては、新しい時代にたくましく生き、ふるさと向日市から世界に羽ばたき、社会と地域の発展に貢献できる人間が育つ地域づくりを目指し、人権尊重を基盤として、時代の進展に対応した教育を進めているところである。また、市民が生涯にわたって、学習・文化・スポーツ活動が続けることができる総合的な環境の整備・充実に努めている。</p> <p>向日市の教育は、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にし、「自立」と「協働」、「人権尊重」をキーワードとして市民の信託と期待に応える教育を推進することを目指すものである。</p> <p>「自立」 一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていく。</p> <p>「協働」 個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画する。</p> <p>「人権尊重」 人権という文化を生活の中に根付かせるため、一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、豊かな人権感覚、人権を尊重する態度と実践力をはぐくむ。</p> <p>向日市の特色を生かした教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ学習 (地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実、生涯学習の振興) ●あいさつからはじまる豊かなコミュニケーション (コミュニケーション能力の育成、地域社会との連携・協働) 		<p>新しい時代を拓く「自立・協働・人権尊重」の教育の推進</p> <p>知識基盤社会と言われる現在、新しい知識・情報・技術が社会のあらゆる領域で重要になっている。加えて、AI等をはじめとする技術革新やグローバル化の進展により、職業の抜本的変化とともに社会や生活を大きく変えていく超スマート社会の到来が予想されている。</p> <p>また、環境問題など地球規模の人類共通の課題解決が求められる中で、我が国においては、人口減少・高齢化の進展による労働人口の減少が予想され、長期を見通した社会の持続的な成長・発展が重要な課題となっている。さらに、新型コロナウイルスの感染拡大により、様々な分野で、「新しい生活様式」に対応させる必要が生じ、テレワークの進展とともにDX（デジタルトランスフォーメーション）が加速するなど産業構造や働き方が大きく変化しようとしている。<u>人づくりを担う教育もまた、多様な価値観と多様な学びが広がる中で、学校の意義や学ぶことの意義を改めて問われるようになった。</u></p> <p>こうした状況に対応するため、自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材を育成していくことが極めて重要であり、一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現が求められている。</p> <p>本市においては、新しい時代にたくましく生き、ふるさと向日市から世界に羽ばたき、社会と地域の発展に貢献できる人間が育つ地域づくりを目指し、人権尊重を基盤として、時代の進展に対応した教育を進めているところである。また、市民が生涯にわたって、学習・文化・スポーツ活動が続けることができる総合的な環境の整備・充実に努めている。</p> <p>向日市の教育は、学校教育と社会教育の連携・融合の視点を大切にし、「自立」と「協働」、「人権尊重」をキーワードとして市民の信託と期待に応える教育を推進することを目指すものである。</p> <p>「自立」 一人一人が多様な個性・能力を伸ばし、充実した人生を主体的に切り開いていく。</p> <p>「協働」 <u>新たな価値の創造を目指し、</u>個人や社会の多様性を尊重し、それぞれの強みを生かして、ともに支え合い、高め合い、社会に参画する。</p> <p>「人権尊重」 人権という文化を生活の中に根付かせるため、一人一人の尊厳と人権が尊重される社会の実現を目指し、豊かな人権感覚、人権を尊重する態度と実践力をはぐくむ。</p> <p>向日市の特色を生かした教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ学習 (地域の歴史と文化を学ぶ機会の充実、生涯学習の振興) ●あいさつからはじまる豊かなコミュニケーション (コミュニケーション能力の育成、地域社会との連携・協働) 		<p>・新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことにより文言修正</p> <p>第2期京都府教育振興プラン「目指す人間像とはぐくみたい力」より</p> <p>・向日市教育大綱の意義及び趣旨に合わせて文言修正</p>

令和5年度		令和6年度		改訂理由																				
前文の内容	特に配慮すべき事項	前文の内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項																					
<p>学校教育指導の重点</p> <p>現行の学習指導要領においては、これからの時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を図り、生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等をバランスよく育成することとしている。</p> <p>本市では、「第2次ふるさと向日市創生計画」や「第2期京都府教育振興プラン」、京都府教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえ、本市教育委員会の「学校教育指導の重点」を策定し、学校教育活動の充実・発展に努めるとともに、重点課題を明確にし、その課題解決を図っている。</p> <p>このため、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と地域社会が共有し、連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力を育む※「社会に開かれた教育課程の実現」を図るとともに、子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことのない教育を推進する。</p> <p>【重点となる5つの柱】</p> <table border="1"> <tr> <td>豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成</td> </tr> <tr> <td>豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</td> </tr> <tr> <td>健やかな身体をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進</td> </tr> <tr> <td>学びを支える教育環境の充実</td> <td>1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり</td> </tr> <tr> <td>学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上</td> <td>1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進</td> </tr> </table> <p>※社会に開かれた教育課程 教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしなが、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくこと</p>		豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進	1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成	豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進	1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実	健やかな身体をはぐくむ教育の推進	1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進	学びを支える教育環境の充実	1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上	1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進		<p>学校教育指導の重点</p> <p>現行の学習指導要領においては、これからの時代に必要となる資質・能力の育成と学習評価の充実を図り、生きて働く知識・技能の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等、学んだことを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等をバランスよく育成することとしている。</p> <p>本市では、「第2次ふるさと向日市創生計画」や「第2期京都府教育振興プラン」、京都府教育委員会の「学校教育の重点」を踏まえ、本市教育委員会の「学校教育指導の重点」を策定し、学校教育活動の充実・発展に努めるとともに、重点課題を明確にし、その課題解決を図っている。</p> <p>このため、よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創るという目標を学校と地域社会が共有し、連携・協働しながら、未来の創り手となるために必要な資質・能力をはぐくむ※「社会に開かれた教育課程の実現」を図るとともに、子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことのない教育を推進する。</p> <p>【重点となる5つの柱】</p> <table border="1"> <tr> <td>豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成</td> </tr> <tr> <td>豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</td> </tr> <tr> <td>健やかな身体をはぐくむ教育の推進</td> <td>1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進</td> </tr> <tr> <td>学びを支える教育環境の充実</td> <td>1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり</td> </tr> <tr> <td>学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上</td> <td>1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進</td> </tr> </table> <p>※社会に開かれた教育課程 教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な教育内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしなが、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくこと</p>		豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進	1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成	豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進	1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実	健やかな身体をはぐくむ教育の推進	1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進	学びを支える教育環境の充実	1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上	1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進
豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進	1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成																							
豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進	1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実																							
健やかな身体をはぐくむ教育の推進	1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進																							
学びを支える教育環境の充実	1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり																							
学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上	1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進																							
豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進	1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成																							
豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進	1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実																							
健やかな身体をはぐくむ教育の推進	1 体力・運動能力の向上 2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応 3 食育の推進																							
学びを支える教育環境の充実	1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり																							
学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上	1 社会に開かれた教育課程の実現 2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進																							

令和5年度		令和6年度		改訂理由
重点内容	特に配慮すべき事項	重点内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>■豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進する。</p> <p>※1 確かな学力 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む意欲・態度を統合した力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成</p> </div> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善</p> <p>(2) 1人1台端末等ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実</p> <p>(3) 小中の接続を重視した外国語教育の充実</p> <p>(4) 学力向上プログラムに基づく検証・改善サイクルの確立と学習指導の改善・充実</p> <p>(5) 個に応じた指導の充実による基礎学力の定着</p> <p>(6) 家庭との連携による発達段階に応じた学習習慣の確立</p> <p>(7) コミュニケーション能力や自尊心、社会性など非認知能力 ※2の向上に向けた取組の充実</p> <p>(8) グローバル化に対応できる人材の育成</p> <p>(9) 地域の歴史や我が国の伝統・文化等を学ぶ機会の充実</p> <p>(10) ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実</p> <p>(11) 教育課程に芸術・文化活動を適切に位置付けて実施</p> <p>(12) 主体的な進路選択と希望進路実現のための進路指導の充実</p> <p>(13) 中学生英語スピーチ大会を学習成果の発表の機会と捉え、教育課程に位置付けた計画的な取組の推進</p>	<p>(1) ・学ぶ意義や楽しさを感じられるよう配慮</p> <p>(2) ・授業支援ソフト及びデジタルドリルの活用 ・情報活用能力の育成</p> <p>(3) ・ALT（外国語指導助手）の積極的な活用 ・小中や小小の連携強化による学習指導の充実</p> <p>(4) ・児童生徒の学力の客観的な状況把握</p> <p>(5) ・「子どものための京都式少人数教育」を踏まえた指導充実</p> <p>(9) (11) ・専門家等による指導や芸術作品の鑑賞等の機会の充実</p> <p>(10) ・ふるさとの伝統や文化を学び、発信することができる取組の推進</p> <p>・地域人材の活用 ・市内各施設・史跡等の活用</p> <p>(12) ・各高等学校の特色を踏まえた中高の一層の連携</p> <p>※2 コミュニケーション能力や自尊心、社会性など数値で示すことが困難とされる力</p>	<p>■豊かな学びの創造と確かな学力をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進する。</p> <p>※1 確かな学力 基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をはじめ、知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等や主体的に学習に取り組む意欲・態度を統合した力</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 基礎的な知識・技能の習得 2 活用する力（思考力・判断力・表現力等）の育成 3 主体的に学習に取り組む態度の育成</p> </div> <p>(1) 「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善</p> <p>(2) 1人1台端末等ICTを効果的に活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」の充実</p> <p>(3) 小中の接続を重視した外国語教育の充実</p> <p>(4) 学力向上プログラムに基づく検証・改善サイクルの確立と学習指導の改善・充実</p> <p>(5) 個に応じた指導の充実による基礎学力の定着</p> <p>(6) 家庭との連携による発達段階に応じた学習習慣の確立</p> <p>(7) コミュニケーション能力や自尊心、社会性など非認知能力 ※2の向上に向けた取組の充実</p> <p>(8) グローバル化に対応できる人材の育成</p> <p>(9) 地域の歴史や我が国の伝統・文化等を学ぶ機会の充実</p> <p>(10) ふるさと向日市への愛着と誇りをはぐくむ「ふるさと学習」の充実</p> <p>(11) 教育課程に芸術・文化活動を適切に位置付けて実施</p> <p>(12) 主体的な進路選択と希望進路実現のための進路指導の充実</p> <p>(13) 中学生英語スピーチ大会を学習成果の発表の機会と捉え、教育課程に位置付けた計画的な取組の推進</p>	<p>(1) ・学ぶ意義や楽しさを感じられるよう配慮</p> <p>(2) ・授業支援ソフト及びデジタルドリルの活用 ・情報活用能力の育成</p> <p>(3) ・ALT（外国語指導助手）の積極的な活用 ・小中や小小の連携強化による学習指導の充実</p> <p>(4) ・児童生徒の学力の客観的な状況把握</p> <p>(5) ・「子どものための京都式少人数教育」を踏まえた指導充実</p> <p>(9) (11) ・専門家等による指導や芸術作品の鑑賞等の機会の充実</p> <p>(10) ・ふるさとの伝統や文化を学び、発信することができる取組の推進</p> <p>・地域人材の活用 ・市内各施設・史跡等の活用</p> <p>(12) ・各高等学校の特色を踏まえた中高の一層の連携</p> <p>(13) ・英語検定チャレンジ事業を活用し、英語への関心や学習意欲の一層の向上</p> <p>※2 コミュニケーション能力や自尊心、社会性など数値で示すことが困難とされる力</p>	<p>・令和5年度から事業を開始したため、文言追加</p>

令和5年度		令和6年度		改訂理由
重点内容	特に配慮すべき事項	重点内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>■豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進する。</p> <p>○ 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくむ。</p> <p>○ すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</p> </div> <p>(1)「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」及び「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」を踏まえた人権教育の推進</p> <p>(2)同和問題（部落差別）を人権問題の重要な柱として位置づけた体系的・計画的な人権学習の充実</p> <p>(3)人権学習に関する公開授業の実施と家庭・地域社会への啓発</p> <p>(4)道徳教育推進教師を中心とした、全教育活動における道徳教育のさらなる充実</p> <p>(5)子どもの自立心や自律性、人を思いやり生命を大切にする心などをはぐくむ授業の充実</p> <p>(6)家庭・地域社会と一体となった道徳的実践の環境づくり</p> <p>(7)社会奉仕活動、自然体験活動などの体験活動の充実</p> <p>(8)読書活動を通じた創造力・表現力等の育成</p> <p>(9)読書活動を支える学校図書館機能の充実</p> <p>(10)特別支援教育コーディネーターを中心とする校内体制の充実</p> <p>(11)個別の指導計画に基づく学習指導の充実と個別の教育支援計画の活用</p> <p>(12)授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実</p> <p>(13)向日市いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応による、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底</p> <p>(14)組織的・計画的な生徒指導・教育相談の充実</p>	<p>(1)・普遍的視点と個別的視点からのアプローチによる指導 →新型コロナウイルス感染症等に関する適切な知識を基に、感染症に係る偏見、いじめ、差別等が生じないよう、適切に指導</p> <p>(2)・「部落差別の解消の推進に関する法律」等の法律を踏まえ、インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題の解決に向けた人権学習の充実</p> <p>(4)・道徳教育推進体制の充実及び全体計画や年間指導計画、指導方法の工夫改善 ・『《道徳教育の進め方》京都式ハンドブック』等の活用 ・小中学校道徳実践交流会の充実</p> <p>(9)・学校図書館支援員の活用 ・学校図書館ボランティア、公立図書館との連携</p> <p>(10)・コーディネーター連絡会議の充実 ・教育相談員や支援員の積極的・効果的な活用</p>	<p>■豊かな人間性と多様性を尊重する心をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進する。</p> <p>○ 多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくむ。</p> <p>○ すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組む。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 人権教育の推進 2 道徳教育の推進、体験活動や読書活動の充実 3 障がいのある子どもの自立や社会参加を目指した特別支援教育の充実 4 いじめや暴力行為の防止対策の充実 5 不登校の子どもへのきめ細やかな支援の充実</p> </div> <p>(1)「京都府人権教育・啓発推進計画（第2次）」及び「第2次向日市人権教育・啓発推進計画」を踏まえた人権教育の推進</p> <p>(2)同和問題（部落差別）を人権問題の重要な柱として位置づけた体系的・計画的な人権学習の充実</p> <p>(3)人権学習に関する公開授業の実施と家庭・地域社会への啓発</p> <p>(4)道徳教育推進教師を中心とした、全教育活動における道徳教育のさらなる充実</p> <p>(5)子どもの自立心や自律性、人を思いやり生命を大切にする心などをはぐくむ授業の充実</p> <p>(6)家庭・地域社会と一体となった道徳的実践の環境づくり</p> <p>(7)社会奉仕活動、自然体験活動などの体験活動の充実</p> <p>(8)読書活動を通じた創造力・表現力等の育成</p> <p>(9)読書活動を支える学校図書館機能の充実</p> <p>(10)特別支援教育コーディネーターを中心とする校内体制の充実</p> <p>(11)個別の指導計画に基づく学習指導の充実と個別の教育支援計画の活用</p> <p>(12)授業のユニバーサルデザイン化など一人一人を大切にした指導の充実</p> <p>(13)向日市いじめ防止基本方針に基づく組織的な対応による、いじめの未然防止・早期発見・早期対応の徹底</p> <p>(14)組織的・計画的な生徒指導・教育相談の充実</p>	<p>(1)・普遍的視点と個別的視点からのアプローチによる指導</p> <p>(2)・「部落差別の解消の推進に関する法律」等の法律を踏まえ、インターネット社会の中で多様化・複雑化する人権問題の解決に向けた人権学習の充実</p> <p>(4)・道徳教育推進体制の充実及び全体計画や年間指導計画、指導方法の工夫改善 ・『《道徳教育の進め方》京都式ハンドブック』等の活用 ・小中学校道徳実践交流会の充実</p> <p>(9)・学校図書館支援員の活用 ・学校図書館ボランティア、公立図書館との連携</p> <p>(10)・コーディネーター連絡会議の充実 ・教育相談員や支援員の積極的・効果的な活用</p> <p>(12)・特別な支援を要する児童生徒を含め、すべての児童生徒が「わかる・できる」授業づくり ・地域人材やボランティアを活用した補</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症に関わる記述について削除</p>

<p>(15) 規範意識の醸成や異年齢交流活動など「自己有用感」をはぐくむ取組の充実</p> <p>(16) 不登校の児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立する支援の充実</p> <p>(17) 保幼小、小中の校種間連携の充実</p>	<p>(12) ・特別な支援を要する児童生徒を含め、すべての児童生徒が「わかる・できる」授業づくり ・地域人材やボランティアを活用した補充学習の充実</p> <p>(13) ・いじめの未然防止に向けた児童生徒の自尊心や社会性等をはぐくむ教育</p> <p>(14) ・小中や小小の連携強化による生徒指導等の充実</p> <p>(15) ・非行防止教室、 薬物乱用防止教室の実施</p> <p>(16) ・教育相談事業等の効果的な活用（巡回・来所・電話相談、 適応指導教室、スクールソーシャルワーカー、心の相談サポーター、スクールカウンセラー等の配置）</p> <p>(17) ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた、幼児と児童の交流の機会や保幼小指導者による合同の研究機会の充実</p>	<p>(15) 規範意識の醸成や異年齢交流活動など「自己有用感」をはぐくむ取組の充実</p> <p>(16) 不登校の児童生徒が自らの進路を主体的に捉えて、社会的に自立する支援の充実</p> <p>(17) 保幼小、小中の校種間連携の充実</p>	<p>充学習の充実</p> <p>(13) ・いじめの未然防止に向けた児童生徒の自尊心や社会性等をはぐくむ教育</p> <p>(14) ・小中や小小の連携強化による生徒指導等の充実</p> <p>(15) ・非行防止教室・薬物乱用防止教室の実施</p> <p>(16) ・教育相談事業等の効果的な活用（巡回・来所・電話相談、 <u>ひまわり広場（旧適応指導教室）</u>、 スクールソーシャルワーカー、心の相談サポーター、スクールカウンセラー等の配置）</p> <p>(17) ・幼児教育と小学校教育の円滑な接続に向けた、幼児と児童の交流の機会や保幼小指導者による合同の研究機会の充実</p>	<p>・名称変更による文言修正</p>
---	---	---	--	---------------------

令和5年度		令和6年度		改訂理由
重点内容	特に配慮すべき事項	重点内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>■ 健やかな身体をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。</p> <p>○ 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 体力・運動能力の向上</p> <p>2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応</p> <p>3 食育の推進</p> </div> <p>(1) 体力・運動能力の向上に向けた、体力づくりの取組の充実</p> <p>(2) 「運動部活動指導ハンドブック」を活用した運動部活動の充実と指導方法の工夫改善</p> <p>(3) 中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた検討</p> <p>(4) 外あそび等の奨励による子どもの心身の発達や社会性の育成</p> <p>(5) 家庭との連携による基本的な生活習慣の確立を図る取組の充実</p> <p>(6) 生涯を通じて心身の健康を適切に管理し、改善していくための教育の充実（感染症対策、メンタルヘルス、性教育、喫煙・飲酒・薬物乱用防止等）</p> <p>(7) 学校給食を通じた食に関する指導充実による食育の推進</p> <p>(8) 地場産品の活用と地域の食文化を尊重する心の育成</p>	<p>(1) ・新体カテストの結果活用 ・「京の子ども元気なからだスタンダード」等を活用した授業や取組の推進</p> <p>(2) ・「向日市部活動指導方針」に基づく取組の推進</p> <p>(3) ・中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた市内のスポーツ団体等との協議</p> <p>(5) ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組等の推進</p> <p>(6) ・専門機関と連携し、系統的、総合的な指導 ・「生命（いのち）のがん教育」の活用及び「生命（いのち）の安全教育」の推進</p> <p>(7) (8) ・栄養教諭・栄養士による授業の充実 ・小中学校9年間を見通した食育の推進</p>	<p>■ 健やかな身体をはぐくむ教育の推進</p> <p>○ 生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。</p> <p>○ 知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>1 体力・運動能力の向上</p> <p>2 健康的な生活習慣の確立と健康課題への対応</p> <p>3 食育の推進</p> </div> <p>(1) 体力・運動能力の向上に向けた、体力づくりの取組の充実</p> <p>(2) 「運動部活動指導ハンドブック」を活用した運動部活動の充実と指導方法の工夫改善</p> <p>(3) 中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた検討</p> <p>(4) 外あそび等の奨励による子どもの心身の発達や社会性の育成</p> <p>(5) 家庭との連携による基本的な生活習慣の確立を図る取組の充実</p> <p>(6) 生涯を通じて心身の健康を適切に管理し、改善していくための教育の充実（<u>喫煙・飲酒・薬物乱用防止、感染症対策、メンタルヘルス、性教育等</u>）</p> <p>(7) 学校給食を通じた食に関する指導充実による食育の推進</p> <p>(8) 地場産品の活用と地域の食文化を尊重する心の育成</p>	<p>(1) ・新体カテストの結果活用 ・「京の子ども元気なからだスタンダード」等を活用した授業や取組の推進</p> <p>(2) ・「向日市部活動指導方針」に基づく取組の推進</p> <p>(3) ・中学校部活動の地域連携・地域移行に向けた市内のスポーツ団体等との協議</p> <p>(5) ・「早寝・早起き・朝ごはん」の取組等の推進</p> <p>(6) ・専門機関と連携し、系統的、総合的な指導 ・「生命（いのち）のがん教育」の活用及び「生命（いのち）の安全教育」の推進</p> <p>(7) (8) ・栄養教諭・栄養士による授業の充実 ・小中学校9年間を見通した食育の推進</p>	<p>・令和5年8月に「第六次薬物乱用防止五カ年戦略」が策定され、学校における薬物乱用防止教育及び啓発の充実を図るため、順序の変更</p>

令和5年度		令和6年度		改訂理由
重点内容	特に配慮すべき事項	重点内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>■学びを支える安心・安全な教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備する。 ○ すべての子どもが将来に夢や希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組む。 ○ 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。 ○ 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり</p> </div> <p>(1)災害時や新型コロナウイルス感染症等の非常時においても、児童生徒が安心して学べる学習の保障</p> <p>(2)危機対応能力（自ら判断し、自ら行動する力）を育成するための安全教育の充実</p> <p>(3)交通安全指導の徹底（自転車の安全な利用、PTA・地域社会と連携した登下校の安全確保）</p> <p>(4)防災、生活の安全等に関する安全管理の一層の徹底</p> <p>(5)本市教育委員会指定研究制度等を活用した、特色ある教育活動の推進</p> <p>(6)教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実</p> <p>(7)教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す「教職員の働き方改革」の推進</p>	<p>(1)・感染症対策の徹底 ・オンラインによる学習支援の充実</p> <p>(3)・自転車運転免許教室の実施など</p> <p>(4)・学校安全計画、危機管理マニュアル、学校防災計画の定期的な検証と改善 ・京都府安全教育の手引き『いのちを守る知恵をはぐくむために』を踏まえた安全教育の計画的な実施</p> <p>(6)・全教職員対象の研修会の実施 ・『教員等の資質能力の向上に向けて』を手掛かりに計画的かつ効果的な取組 ・『コンプライアンスハンドブック』の活用 ・子ども未来づくり支援事業等の効果的な活用</p> <p>(7)・共同学校事務室業務の充実及び学校業務改善の推進</p>	<p>■学びを支える安心・安全な教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備する。 ○ すべての子どもが将来に夢や希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組む。 ○ 強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が、明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。 ○ 子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1 安心・安全を守る学校危機管理の充実 2 教職員の資質能力の向上 3 教職員の働き方改革の推進 4 魅力ある学校づくり</p> </div> <p>(1)災害時や新たな感染症の流行等の非常時においても、児童生徒が安心して学べる学習の保障</p> <p>(2)危機対応能力（自ら判断し、自ら行動する力）を育成するための安全教育の充実</p> <p>(3)交通安全指導の徹底（自転車の安全な利用、PTA・地域社会と連携した登下校の安全確保）</p> <p>(4)防災、生活の安全等に関する安全管理の一層の徹底</p> <p>(5)本市教育委員会指定研究制度等を活用した、特色ある教育活動の推進</p> <p>(6)教職員の資質能力の向上に向けた、多様な教職員研修の充実</p> <p>(7)教育の質の向上と子どもたちの豊かな成長を目指す「教職員の働き方改革」の推進</p>	<p>(1)・感染症対策の徹底 ・オンラインによる学習支援の充実</p> <p>(3)・自転車運転免許教室の実施など</p> <p>(4)・学校安全計画、危機管理マニュアル、学校防災計画の定期的な検証と改善 ・京都府安全教育の手引き『いのちを守る知恵をはぐくむために』を踏まえた安全教育の計画的な実施</p> <p>(6)・全教職員対象の研修会の実施 ・『教員等の資質能力の向上に向けて』を手掛かりに計画的かつ効果的な取組 ・『コンプライアンスハンドブック』の活用 ・子ども未来づくり支援事業等の効果的な活用</p> <p>(7)・共同学校事務室業務の充実及び学校業務改善の推進</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症が5類へ移行となったため、文言修正 ・ポストコロナ期における学びの在り方について「第十二次提言」(文科省)</p>

令和5年度		令和6年度		改訂理由
重点内容	特に配慮すべき事項	重点内容 ※下線部は新規に挿入または修正箇所	特に配慮すべき事項	
<p>■学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上</p> <p>○ 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p> <p>○ 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画しできる資質と能力をはぐくむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 社会に開かれた教育課程の実現</p> <p>2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進</p> </div> <p>(1)学校評価の充実と学校の組織としての教育力の向上</p> <p>(2)家庭・地域社会への積極的な情報発信</p> <p>(3)コミュニティ・スクール※3の導入</p> <p>(4)あいさつが交わされるまちづくりの推進</p> <p>(5)環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実</p> <p>(6)国や社会の問題を自分の問題として捉え、主権者として自ら判断し行動できる資質能力の育成</p> <p>(7)キャリア教育の視点を明確にした教育活動の推進</p> <p>※3 コミュニティ・スクール 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校</p>	<p>(1)・学校目標達成のためのPDCAサイクルの確立</p> <p>(2)・学校だよりやホームページを活用</p> <p>(3)・地域学校協働活動との一体的な推進</p> <p>(5)(6) ・情報モラル教育の充実 ・新聞等の効果的な活用 ・持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ環境教育の充実</p> <p>(7)・職場体験活動など地域社会と連携した体験的な学習の充実</p>	<p>■学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上</p> <p>○ 保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p> <p>○ 次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画しできる資質と能力をはぐくむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>1 社会に開かれた教育課程の実現</p> <p>2 社会の担い手として生きる力をはぐくむ教育の推進</p> </div> <p>(1)学校評価の充実と学校の組織としての教育力の向上</p> <p>(2)家庭・地域社会への積極的な情報発信</p> <p>(3)コミュニティ・スクール※3の展開</p> <p>(4)あいさつが交わされるまちづくりの推進</p> <p>(5)環境や情報などに係る現代的課題に対する関心や理解を深める教育の充実</p> <p>(6)国や社会の問題を自分の問題として捉え、主権者として自ら判断し行動できる資質能力の育成</p> <p>(7)キャリア教育の視点を明確にした教育活動の推進</p> <p>※3 コミュニティ・スクール 地域住民や保護者等が学校運営に参画する仕組みとして、学校運営協議会制度を導入した学校</p>	<p>(1)・学校目標達成のためのPDCAサイクルの確立</p> <p>(2)・学校だよりやホームページを活用</p> <p>(3)・地域学校協働活動との一体的な推進</p> <p>(5)(6) ・情報モラル教育の充実 ・新聞等の効果的な活用 ・持続可能な社会づくりの担い手をはぐくむ環境教育の充実</p> <p>(7)・職場体験活動など地域社会と連携した体験的な学習の充実</p>	<p>・コミュニティ・スクールの導入から、地域学校協働活動との一体的な推進を図るために文言修正 これからのコミュニティスクールの在り方と総合的な推進方策について（文科省）</p>

令和 6 年度

向日市の教育（指導の重点）

新旧対照表

向日市教育委員会

（5年度→6年度）

※は追加項目分

令和6年度 社会教育指導の重点（案）

令和5年度		令和6年度		改訂理由
	特に配慮すべき事項		特に配慮すべき事項	
<p>■社会教育指導の重点（7頁）</p> <p>市民が生涯にわたって学び続けることができる学習環境の総合的な整備・充実に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策との両立を図る。</p> <p>※ 表の色変更</p> <p>■生涯学習環境の充実（7頁）</p> <p>2 社会教育施設における学習機会の充実</p> <p>(3) 施設の特徴を活かした学習機会と学習成果を活かした活動の場の充実</p> <p><図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な資料・情報要求に迅速に応えるための、蔵書の整備・レファレンス機能及びホームページやLINEなどの情報提供機能の拡充と読書推進のための各種事業の充実 <p>■家庭・地域社会の教育力の向上（8頁）</p> <p>2 地域社会の教育力の向上</p> <p>(4) 子どもの健康育成</p>		<p>市民が生涯にわたって学び続けることができる学習環境の総合的な整備・充実に努めるとともに、新型コロナウイルス感染症対策との両立を図る。</p> <p>旧 → 新 スポーツの推進 紫 → 赤 歴史・文化資源の整備と活用 赤 → 紫</p> <p><図書館></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>蔵書・レファレンス機能の整備と、ホームページやLINEなどインターネットを介した情報機能の拡充、及び読書推進のための各種事業の充実</u> <p>(4) 子どもの<u>健全</u>育成</p>		<p>新型コロナウイルス感染症の第5類移行に伴い、コロナ以前の表記に変更</p> <p>内容と色のイメージをそろえる。 紫：神秘的、冷静、歴史においては高貴な色 赤：熱さ、強さ、情熱、活発なイメージ</p> <p>実態に即して分かりやすいように文言修正</p> <p>地域の青少年健全育成団体と連携実施しており、文言修正</p>

<p>■組織図（10 頁）</p> <p>教育総務課 教育総務係・施設整備係 ・文化財調査事務所 ・旧上田家住宅</p> <p>生涯学習課</p> <p>※ 生涯学習課 留守家庭児童会（各小学校）</p> <p>■向日市の史跡等（11 頁）</p> <p>・文化財調査事務所</p>		<p>教育総務課 教育総務係・文化財係 ・文化財調査事務所 ・旧上田家住宅</p> <p>生涯学習課</p> <p>・市民体育館 ・中央公民館 ・地区公民館 ・図書館 ・文化資料館 ・天文館</p> <p>生涯学習課 留守家庭児童会（874-2987）</p> <p>・文化財調査事務所</p>		<p>令和5年10月の機構改革に伴う組織改定によるもの。</p> <p>・文化財調査事務所（廃止） →教育総務課文化財係</p> <p>・教育総務課施設整備係→ 公共建物整備課（都市整備部） ・旧上田家住宅→文化推進課（ふるさと創生推進部）</p> <p>・市民体育館は総務課（総務部）→生涯学習課</p> <p>・市民体育館、中央公民館、地区公民館、図書館、文化資料館、天文館は教育部直下から生涯学習課へそれぞれ移管</p> <p>実態に即して、生涯学習の電話番号に変更</p> <p>組織図（10 頁）と同理由</p>
---	--	--	--	--

令和5年度 第2回いじめ調査の概要について

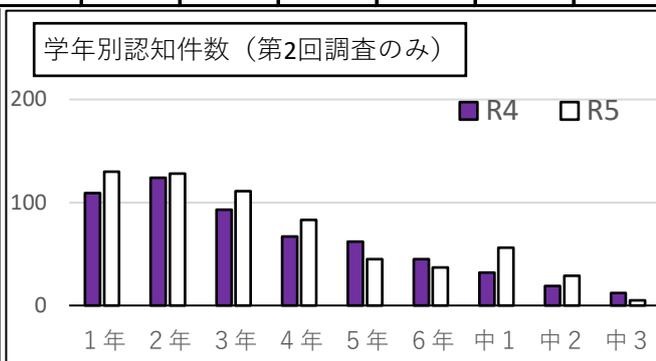
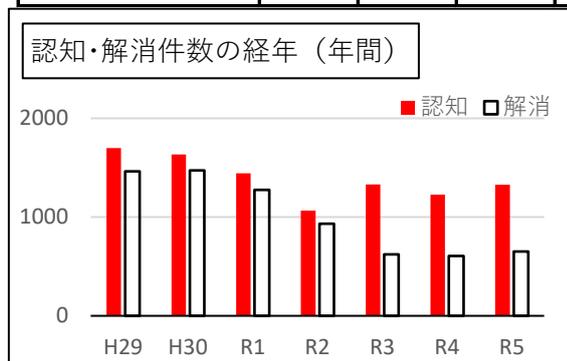
<第1回調査(7月)→追跡(11月)→第2回調査(11月)→追跡(2月実施予定)>

令和6年2月13日
学校教育課指導係

1 認知、未解消、解消の件数

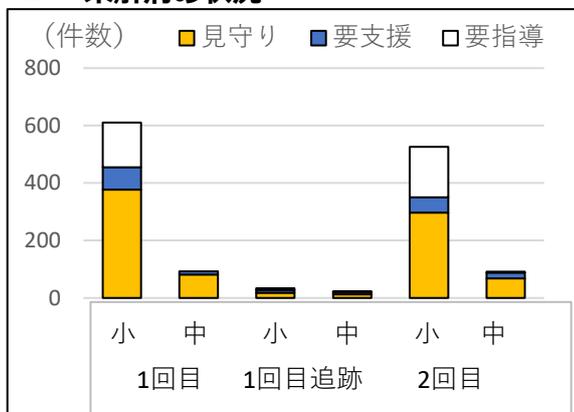
小学校:人 3,015 中学校:人 1,405

	第1回調査(追跡後)				第2回調査				年間	
	小学校		中学校		小学校		中学校		合計	
	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5	R4	R5
認知件数	593	607	72	93	500	534	63	92	1228	1326
未解消件数	71	34	13	22	476	526	62	92	622	674
(要指導)	9	6	1	1	175	176	2	4	187	187
(要支援)	23	10	1	8	79	53	13	20	116	91
(見守り)	39	18	11	13	222	297	47	68	319	396
解消	522	573	59	71	24	8	1	0	606	652



2 未解消の状況

※小学校では、1回目の調査後に4名の転出があった。



	1回目		1回目追跡		2回目	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
認知	611	93	607	93	534	92
未解消	611	93	34	22	526	92
要指導	156	0	6	1	176	4
要支援	78	12	10	8	53	20
見守り	377	81	18	13	297	68
解消	0	0	573	71	8	0

	小学校		中学校	
	R4	R5	R4	R5
①	263	313	42	66
②	90	98	8	15
③	110	136	19	40
④	76	69	6	23
⑤	11	12	0	3
⑥	31	34	0	9
⑦	107	118	6	10
⑧	18	17	9	7
⑨	7	0	0	0

3 いじめの態様 (第2回調査のみ)

① 冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。	263	313	42	66
② 仲間はずれ、集団による無視をされる。	90	98	8	15
③ 軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。	110	136	19	40
④ ひどくぶつかられたりたたかれたり、蹴られたりする。	76	69	6	23
⑤ 金品をたかられる。	11	12	0	3
⑥ 金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする。	31	34	0	9
⑦ 嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたり、させられたりする。	107	118	6	10
⑧ パソコンや携帯電話等で、ひぼう・中傷や嫌なことをされる。	18	17	9	7
⑨ その他	7	0	0	0

